

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年8月26日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから8月26日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、1の原子力規制委員会の(2)来週も臨時会議としてCEOとの意見交換があります。今回は中部電力ということになります。

次が、8月29日の(2)検査制度に関する意見交換会ということになります。

これは新検査制度ができてから数ヶ月に1回、事業者と意見交換を継続的に行ってきたもので、今回9回目ということになります。

議題の1から5が発電所側で、6・7が核燃料という2部制になっていまして、1と5が定例の議題で、検査状況とか活動の報告などがあります。議題の2から4が、事業者と規制庁側、それぞれから相手側に対する改善意見とか提案といったものになります。6と7は核燃料施設の関係ということになります。

次が、8月30日の(3)廃止措置に関する審査会合です。

議題は1つで、伊方の1・2号機です。前回7月12日のコメントへの回答で、今回で終わりという見込みになっています。

次が、8月30日の(4)第1066回審査会合です。

特定重大事故等対処施設が議題なので非公開となります。議題は2つで、東海第二の設工認と女川の許可ということになります。

次、3ページですけれども、9月1日の(7)特定兼用キャスクの型式証明の審査会合です。

議題は1つで、三菱重工からの申請についてということで、7月13日に申請があったもので、今回が初ということになります。

次が、9月1日の(8)第1067回審査会合です。

議題は3つありまして、1つが伊方3号機の設工認で、これは火災感知器のバックフィットです。6月30日に申請があって、今回初会合ということになります。

2つ目が、高浜3・4号機の設工認でして、格納容器の改良工事ということのようです。7月7日申請で今回初回ですけれども、軽微な改良なので1回で終わる可能性もあります。

3つ目は、高浜の保安規定です。

これは1・2号機の廃棄物の処理設備をほかの号機と共用化するもののようにありまして、これも7月7日申請で今回初回ですけれども、これも1回で終わる可能性もあります。

次が、9月2日の（9）第1068回審査会合です。

議題は1つで、東通の津波評価です。

これは前回1月28日でしたけれども、そのコメント回答ということになります。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

○司会 質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—